

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 大山工場
水資源の責任ある管理と利用へのコミットメント

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社は、水資源の責任ある管理と利用（ウォーター・スチュワードシップ）に関する国際的な AWS 規格を参照した水資源管理を実施し、当社工場およびその敷地内として定義された範囲において、5 つの主要なアウトカム目標の達成に向けて、必要なリソースの配分、計画の策定、進捗管理、ならびに関係者への開示に責任をもって取り組みます。

5 つの主要なアウトカム目標

1. 適切な水資源ガバナンス
2. 持続可能な水収支
3. 適正な水質
4. 健全な淡水生態系と生物多様性
5. 工場従業員への安全な水と衛生設備、衛生環境の提供（WASH）

当社は、水資源管理および計画策定を通じて、AWS 規格を参照しながら、ウォーター・スチュワードシップを効果的に推進するための必要な組織体制を構築します。ステークホルダーとはオープンかつ透明性の高い方法で連携し、実施計画の進捗状況を報告するとともに、重要な水資源管理に関する情報を適切に開示します。また、公的機関と連携し、流域における持続可能な水関連の計画や方針を支援します。

AWS (Alliance for Water Stewardship): 企業、NGO、公的機関などで構成される水のサステナビリティ推進を目的としたグローバル機関です。AWS は、工場単位での集水域における持続可能な水管理に関する認証制度の運用を通じて、地域における持続的かつ責任ある水資源管理の推進を目指しています。

2026 年 6 月 8 日

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
執行役員 最高 SCM 責任者
兼 最高サステナビリティ責任者
兼 SCM 本部長

アンドリュー・フェレット

